

大森東地区管内人口

人口	男	10,361人
	女	9,206人
	計	19,567人
世帯数		10,931世帯

(令和6年12月1日現在)

おおいがし 地域情報 いっつわ

手をつなぐ5自治会

- 大森東自治会 (平林 敏夫 会長)
- 大森東四丁目自治会 (伊藤 音嗣 会長)
- 川端自治会 (江藤 豊 会長)
- 大森南自治会 (平林 茂 会長)
- 森ヶ崎自治会 (野口 多加志 会長)

発行：地域力推進大森東地区委員会 編集：地域情報紙「いっつわ」編集委員会

【編集委員長】須山 芳明 (大森東四丁目自治会) 【副編集委員長】野口 弘子 (大森南自治会) / 江原 良子 (森ヶ崎自治会)
 【編集委員】田中 文雄 (大森東自治会) / 野村 勝恵 (大森東自治会) / 福本 享子 (川端自治会) / 平林 典明 (川端自治会) / 魚住 みさ子 (大森南自治会) / 安藤 澄枝 (森ヶ崎自治会) / 伊藤 音嗣 (大森東四丁目自治会) 【事務局】赤堀 匠 (大森東特別出張所)

三輪厳島神社 通称「弁天神社」の伝説と史実

(三輪厳島神社 氏子総代長) 川端自治会 平林 淳志

かしくも、当社祭神は大国主命(おおくにぬしのみこと)伊弉册命(いさしまひめのみこと)市杵島姫命(いちきしまひめのみこと)にまします。謹みて創立の起源を神記口碑に因り案ずるに、安徳帝治承四年(一一八〇年)源義経が郎党を率いて関東に至り、多摩川を渡った際、たまたまその日が二十日に当たっており、強風の為舟が押し流され沖を漂流した。舟から望見される神社の森に海上の平穩を祈念したところ、風がおさまったという。

義経は、舟を大森に着け里人に社の名を尋ねたところ厳島社であったので、その加護を感謝し社殿を修理して舟を着けた浜辺に注連竹(しめだけ)を建てた。この注連竹に付着した海藻がノリであったという言い伝えが残っております。

時代は下り、明治四十二年(一九〇九年)現在の位置に元々あった三輪神社が近くの白山神社を合祀し、さらに昭和三年(一九二八年)に現在の社務所の位置にあった厳島神社を合祀して三輪厳島神社となる。

この三輪厳島神社も、戦災により焼失、昭和二十八年に拝殿・幣殿が建てられ、昭和三十八年に本殿が建てられ現在の姿に至りました。

昭和四年(一九二九年)、厳島神社々殿は、大田区本羽田にある『自性院』へと移築され「牛頭天王堂」として今も現存しております。

大田区歴史資料によると厳島神社移築の際、その跡地より人骨十五余、※板碑

えられたことと、謹んでお慶び申し上げます。

さて、能登半島では昨年一月に大きな地震が発生し、また、九月には集中豪雨が発生し、復興半ばの被災地に大きな被害をもたらしました。私たちも被災された方々の為に、可能な限りの支援を行い、一日でも早い復興をお祈りします。

一方、首都圏でも首都直下型地震のリスクが指摘されており、地震・津波などの自然災害に対して、日頃より防災訓練等を行い迅速な行動がとれるよう防災意識を養う必要があります。

昨年度の自治会連合会の活動としては、九月二十九日に「大森東地区自治会連合会合同防災訓練」



大森東地区自治会連合会 会長 野口 多加志

新年明けましておめでとうございませう。皆様方におかれましては、よき新春を迎えられたことと、謹んでお慶び申し上げます。

さて、能登半島では昨年一月に大きな地震が発生し、また、九月には集中豪雨が発生し、復興半ばの被災地に大きな被害をもたらしました。私たちも被災された方々の為に、可能な限りの支援を行い、一日でも早い復興をお祈りします。

一方、首都圏でも首都直下型地震のリスクが指摘されており、地震・津波などの自然災害に対して、日頃より防災訓練等を行い迅速な行動がとれるよう防災意識を養う必要があります。

昨年度の自治会連合会の活動としては、九月二十九日に「大森東地区自治会連合会合同防災訓練」



(いたび)二十数枚他埋蔵品が出土され、古くは六百年前の古墳塚であったという。出土時の状況としては、厳島神社昔の弁天堂、現在の社務所(の境内から発掘された)とあり、この弁天堂は名高塚神社とも呼ばれ、その境内は周辺の土地よりも六尺(約一、八メートル)程高くなっており石段を登った位置に社殿があったため、周囲の道路面と同じ高さにしてしまうと土地を崩していたところ今回の古墳塚の発見に至る。

人骨は板碑の下にあり、いずれも北枕にし、西に顔を向け、全く積尊の涅槃の形その儘で足を結跏趺坐(けっかふざ)に組んだまま、横臥の姿勢を取り、両手を胸部に合掌し背骨が湾曲して顔を伏せて屈葬の形態をなしていたと大田区の文化財資料に記載されております。

その後、元別当寺院である密乗院に「古墳各霊の塚」を建立し、毎年祭禮の終わりの翌日に「古墳供養」の法務を当社氏子総代(同)で現在も執行しております。

三輪厳島神社の祭禮は、毎年五月の第四週の土・日に行っており、月曜日に行われている「古墳供養」も同法務として位置づけられ、月を跨いでしまう場合は一週間前倒しをして祭禮を行っております。

三輪厳島神社は、源義経にまつわる海苔の発祥地伝説に始まり、数々の神社の合祀を経て現在の姿となりました。歴史的背景や由来、伝説が深く根付いたこの神社は、地域の信仰の中心でもあります。

本年令和七年度は、十二年に度の巳年式年祭に当たり、御神体の御開帳の年でもあり、是非多くの皆様に社殿にお上がり頂き参拝してもらいたいと思っております。これからも地元(川端)の氏神様である三輪厳島神社を皆様で益々盛り立てて参りたいと存じます。

を実施しました。大森消防署森ヶ崎出張所全面協力のもと、心肺蘇生法訓練、起震車体験また、地元企業のご協力によるドローンのシミュレーション体験等、多くの地域の皆様が訓練に参加されました。

十月二十日には大森東地区最大のお祭り「第十一回いっつわふれあい祭り」を開催し、今回初めてキッチンカーにも参加頂き若男女、和気あいあいと大盛況に終わることができました。実行委員・出店関係者の皆さまにつきましては、たくさんのご協力・ご理解をいただきまして、誠にありがとうございました。

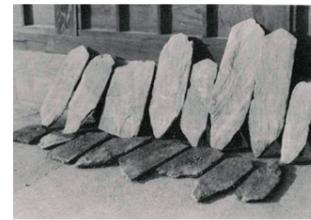
この他にも区の事業や各自治体の盆踊りなど、数多くの事業・行事が、コロナ禍以前の姿に戻り実施されました。地域の皆様方におかれましては、今年度も引き続きご協力をお願いいたします。

結びになりますが、大森東地区の地域の皆さまの新たな一年が、より一層飛躍した年となります様、ご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

私が大森東地区に引越してきたきっかけは、今で言うところの「保活」です。保育園を探し始めた時、ちょうど住まいの契約更新も重なった事で家探しをしていた所、縁があつてこちらに落ち着きました。始まりは保活でしたが、今となっては沢山の縁に恵まれたこちらに落ち着くことができ、良かったと思っております。

また、縁以外でも、子どもとよく遊んだふるま公園や、旧呑川緑地の桜の下でランドセル姿の写真を撮ったりした事等、素敵な景色とも思い出が増えました。

二年ほど前に実家が空いたのを機に兄弟と協力して実家じまいをしました。終わりの期限を決めて、言葉を選ばずに言え、勢いをつけて片っ端から捨てる作業を行いました。何とか想定していた期限内に片付けを終えたその日のことです。実家からの帰り道、乗っていたバスから外を見た時「もうこの景色を見ることは無いんだ」と思ったら何だか寂しく複雑な気持ちになりました。



※板碑とは、中世の人が仏を供養するために作った石碑の一種です。密乗院の板碑群は、大田区文化財に指定されています。

大森びと

「景色に思いを重ねて」

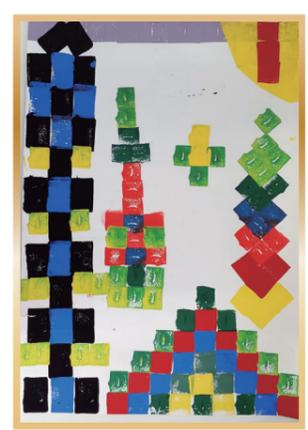
Vol.6

川端自治会 齋藤 愛さん

私が大森東地区に引越してきたきっかけは、今で言うところの「保活」です。保育園を探し始めた時、ちょうど住まいの契約更新も重なった事で家探しをしていた所、縁があつてこちらに落ち着きました。始まりは保活でしたが、今となっては沢山の縁に恵まれたこちらに落ち着くことができ、良かったと思っております。

また、縁以外でも、子どもとよく遊んだふるま公園や、旧呑川緑地の桜の下でランドセル姿の写真を撮ったりした事等、素敵な景色とも思い出が増えました。

二年ほど前に実家が空いたのを機に兄弟と協力して実家じまいをしました。終わりの期限を決めて、言葉を選ばずに言え、勢いをつけて片っ端から捨てる作業を行いました。何とか想定していた期限内に片付けを終えたその日のことです。実家からの帰り道、乗っていたバスから外を見た時「もうこの景色を見ることは無いんだ」と思ったら何だか寂しく複雑な気持ちになりました。



4年2組 監物 光さん



5年1組 大西 咲瑛さん



6年2組 上水 咲希さん

大森東 こども作品館

大森第四小学校 作品

「大森東こども作品館」第7弾は、大森第四小学校の作品を掲載しています。児童のフレッシュな作品を皆様ご鑑賞ください。

地域の記事

★賞状神社

- ・節分祭 2月2日(日)
- ・稲荷祭 2月23日(日)

★浦守稲荷神社

- ・節分祭 2月2日(日)
- ・初午 2月6日(木)
- ・青年会初午祭 2月9日(日) 予定

編集後記

あつと言う間の一年だった様な気が致します。

皆様には大変な御協力をいただきました。ましてありがとうございます。いっつわのわも五町会合同で楽しく、賑やかに開催され、知らない人達が仲良くなり、久しぶりにお逢いした人達の情報を頂き、素晴らしいひとときでした。新年を迎え、世相はめまぐるしく変化しておりますが、健康に気をつけて前へ進んでいきますか、どこまで!!ありがとうございます。

編集委員一同

受賞おめでとうございます

永年勤続民生委員・児童委員表彰

長谷川 美和子(大森東自治会)
福本 二三子(大森東自治会)

大田区自治会・町会正副会長
20年在職者に対する感謝状

清水 勇治(川端自治会) (敬称略)



第11回 いっつのわふれあい祭りを開催しました!

10月20日(日)に第11回いっつのわふれあい祭りを開催しました。当日は多くの方がご来場され、ステージや各ブースを楽しみました。今年は65団体に協力いただき、新たにスカイマーク(株)やキッチンカーが出店しました。また、当日はスタンプラリーやステージも行われ、来場者の笑顔が印象的でした。



第24回 いっつのわ幸陽祭

11月9日(土)に大田幸陽会会館で「いっつのわ幸陽祭」が開催されました。今年もオープニングで太鼓が披露された他、ゲームや販売コーナーに多くの来場者が訪れました。

スポーツ推進委員19年目
大森東四丁目自治会 伊藤 晋一郎

大森東四丁目自治会よりスポーツ推進委員(当初は体育指導委員)の推薦を頂き区より委嘱を受けて19年目となりました。知名度は低いです区内各出張所から、50余名の委員が選出されています。同時に青少年対策地区委員も兼任いたしました。今年度と来年度は大田区スポーツ推進委員協議会の会長を務めさせて頂いております。

区民のスポーツ習慣を定着させる為のきっかけ作りと、スポーツを通じて地域コミュニティの活性化を目的として活動しています。区主催の18地区ポッチャ普及事業では、昨年度は主に川端東寿会の皆様と一緒、ポッチャ体験会を出張所にて実施させて頂き、区や大森地区の大会に出場して頂きました。今年度は子ども食堂の野外イベントでは多くのお子様方に体験して頂きました。また、中富小学校のわくわくサマースクールでは、ポッチャモルックの体験教室を開催し、青少年対策地区委員の員としてジュニアリーダー講習会でのモルック大会の運営のサポートをさせて頂きました。

大森東地区以外でも区の事業のO.T.A.ウォーキング、区民スポーツまつり、おたラニングフェスタ等の運営の一部を担っております。またスポーツ推進委員協議会の自主事業も有り、青少対活動と合わせて、なかなか平日も休めない日々を過ごしております。

平日夜も打合せや各種会議、スポーツ推進委員の実技研修等があり、何もない週がほぼない生活を送っております。

委員を引き受けた時、私は脱サラして家業に入つて2年目でした。ちょうど結婚した年から活動していただきますので、家族には迷惑をかけてきたかも知れませんが、私は競技スポーツの経験もスポーツ指導経験もありまっせんでした。しかし、青春を文化祭等のイベントの運営に捧げたので、大人になってもイベント運営に関与できる喜びを得た事と、区外の中高一貫校に通っていた為にできなかった地元仲間にも恵まれた事は非常に感謝しております。

いっつのわ通信

「第74回”社会を明るくする運動”大田区民のつどい」

「社会を明るくする運動」とは、全ての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。大田区では7月20日(土)に「第74回”社会を明るくする運動”大田区民のつどい」が開催されました。そこで、意見発表を行った大森第一中学校、大森東中学校の生徒の意見を掲載します。



人とのつながりが過ちを未然に防ぐ 大森第一中学校 小岩 宥弥

私は二年生の道徳の授業で、過ちを犯してしまった人の、出所後の生活や立ち直りを支援する方の動画を見たことがあります。現在、支援に取り込むその方も昔、自分が運転する車で交通事故を起こしてしまい、その結果、親友だけが亡くなってしまったという経験をしてしまいました。後悔や自責の念、また被害者の家族や高校時代の友人からの非難の声に長い間苦しんできたそうです。このような悲しい過去がありながらも「この一連の出来事を無駄にしてはいけぬ」、「自分は社会の役に立たなくてはならない」と感じ、罪を犯してしまった人達を更生させるために必要なことはなにか考え、社会復帰する手助けの実践をするようにするようになりました。彼の考え方、生き様は私の先入観を180度回転させてくれました。

それまでの私は犯罪を犯した人イコール社会悪、決して許されない存在と思っていました。一度でも犯罪や非行といった過ちを犯してしまった人は、再び社会に出たあとも「前科者」というレッテルを貼られ、働く場所はおろか、暮らす場所さえも見つけることができないケースが多いため、社会復帰が難しいという現状があります。そして、そのような偏見があることは当然で仕方ないことだと言う人はたくさんいると思います。私自身も過ちを犯した過ち自体は決して許すべきことではないと思っています。被害に遭われた方やその関係者の方々からすれば当然のことだと思います。しかし、そのような先入観から、わたしたちもこのように過ちを犯してしまった人たちに精神的苦痛や孤独感を与えてしまっていることがあるかもしれません。

過ちを犯してしまった人々が、なぜそのような行動をするに至ったのか、その背景や要因についてもわたしたちは考えなければいけないのではないのでしょうか。また、一つ間違えば、わたしたちもこのような立場になる可能性があるということをお忘れはならないと思います。

困っているときに相談する相手がいない、話を聞いてくれる友達がいらないという孤独感は社会から隔離されているという感覚にさえ陥ってしまうことは容易に想像できます。こう考えると

犯罪や非行をした人の立ち直りを支える 大森東中学校 権田 七美

犯罪者が犯罪を繰り返してしまう理由。それは、その人だけの責任ではないと思います。私は今回、この発表を行うにあたって、再犯率について調べました。すると、再犯率は50%、そして再犯罪をした人が無職の可能性は70%ということがわかりました。その理由としては、社会的に孤立して罪を犯し、一度は刑務所に入るものの、出所後もまた、社会に受け入れてもらえず、再び犯罪に手を染めるといった悪循環があるからです。つまり、罪を犯してしまった本人が悪いというのは事実ですが、それには周囲の環境も関わっているということがわかりました。このことから、犯罪や非行をした人間が更生したり、犯罪を繰り返したりしないためには、私たち社会が受け入れ、積極的に手を差し伸べることが重要だと思います。私にも受け入れることに関して、似たような経験があります。

私が小学校4年生のとき、体育の授業でバスケットボールのリーグ戦を行いました。私は負けず嫌いなところがあるので、全勝という目標を立てて、授業に取り組みました。しかし、私が体調を崩し学校を休んでいる間に、リーグ戦が進み、私のチームは一度負けてしまいました。勝利数で私のチームともう一つのチームが並び、決勝戦を行うことになりました。私があの日休んでいなければ、こんな試合やらなくて済んだのという嫌悪感と絶対に一位をとりたいという緊張から、いつも通りのプレイが出来ず、相手に大差をつけられてしまいました。絶望的な状況で、私はすべてが嫌になり、チームメイトについて、「絶対負けるじゃん、こんなチームつまらない」とつぶやいてしまいました。それを聞いたチームメイトに「さっきから自分勝手なプレイばかりだよ。

今の日本社会自体にも過ちの繰り返しを助長する要因があるように感じています。そんな中で、過ちを未然に防ぐという観点から、わたしたちにできることは何かを考えたとき、人と人とのつながりを大切にすること、孤立してしまう人を作り出さない環境づくりが重要ではないかと考えます。

では、中学生であるわたしたちにできることは何かないかと考えたとき、生徒会主催で行っているあいさつ運動はとも有効ではないかと考えました。私の通う大森一中では、「Let's connect the world」と称して、週一度、さまざまな国の言語であいさつを交わす運動を行っています。一人一人と「あいさつ」というツールを使い繋がりを持っていくこと、身近な人々と距離感を保ちながらも関心を持っていくこと、これが周りとの関係性を持ちながら、また、孤立しがちな傾向にある社会を変えていく第一歩だと考えます。

こうした活動を通じて、まずは過ちを未然に防ぐ風土、土台作りを地域の人々と協力しながら作り上げていくことが大切だと考えます。昭和の時代ぐらいうまで、長屋という横に長く作られた共同住宅が多く存在し、その中で人々はお互い協力しながら助け合い、生活していたそうです。現在では、他人に干渉されることを好まない人々が増え、隣に住んでいる人の顔も知らずに、あいさつすらかわさない寂しい社会になっています。しかし、あいさつには、人の心を明るくできる力があります。それは私自身があいさつ運動で経験しました。あいさつをするれば相手からあいさつが戻ってきますし、した人も笑顔になります。私はあいさつが周りの人々に与えるパワーを信じています。社会の中でみんなが支え合い、また、やり直そうとする意志のある方へは立ち直るための支援をしていくことができれば、誰も取り残さない社会が実現するのではないのでしょうか?過ちを犯した人、犯罪に巻き込まれて悲しい想いをした人、ならびに、今、社会の中で生きづらさを感じている人、それぞれが新しいスタートを切ることができるとは思っています。誰もが生きやすく、よりよい社会のために、身近な人とのつながりを社会の基盤としていきたいと思っています。

感震ブレイカー知っていますか?

感震ブレイカーとは、地震発生時に設定値以上の揺れを感じたときに、電気を自動で止める器具です。大規模災害が発生すると電気の供給が遮断され、復旧した際に通電火災が発生する可能性があります。感震ブレイカーは通電火災防止に有効とされており、木造住宅密集地域には特に有効とされています。

大田区では、以下の地域または木造住宅にお住まいの方に無料で支給しています。

- 大森中一丁目、三丁目
- 大森東二丁目、四丁目、五丁目
- 大森南一丁目

特別出張所、地域包括支援センター、等でチラシ、申請書を配付しております。詳細については、チラシや区のHPをご確認ください。

また、東京都では感震コンセントをお配りしています。

感震コンセントとは、揺れを感じるとコンセントに取り付けた機器の通電を遮断します。在宅用医療機器を使用している方など、継続して電気供給を必要とする方、場所が効果的です。

大田区 感震ブレイカー



配布チラシ

